



岡田 聡 議員

幼児教育・保育の無償化への対応は

町長

新しい施策を考えたい



どの子にも等しく質の高い保育を

【岡田】本年10月1日から消費税増税に合わせて、幼児教育・保育の無償化が実施される。0～2歳児は住民税非課税世帯のみと3～5歳児は原則無償となる。

家庭の経済状況に左右されることなく等しく質の高い教育・保育を受けられるようにする、という狙いがある。

保育の質を向上させるには、保育士の待遇改善も必要と思うが。【教育長】近年、保育

士確保が困難な社会情勢を背景に、昨年度から今年度にかけて、嘱託・臨時保育士の待遇改善を行ってきた。さらに、次年度は会計年度任用職員制度が開始となり待遇改善となる。

【岡田】本町が先んじて行ってきた、3歳児以上無償化が一律となる。

さらに特色ある人口減少対策を打ち出すべきと思うが。

【町長】浮いた財源で、新しい施策を考えたい。

ユニバーサル社会の認識は

町長

取り組みを進めたい

【岡田】すべての国民が、障害の有無、年齢などにかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念に則り、自立した日常生活および社会生活を確保するためのユニバーサル社会実現推進法が制定されている。住みよい街づくりのために、ユニバーサルデザインを考慮しているか。7原則は。

【町長】街づくりでは、スロープや手すりの設置、多機能型トイレを導入するなど、7原則をふまえた施設整備を行っている。

【岡田】ユニバーサルデザインマップを本町のPR紙などに取り入れれば、より分かりや

すく親しみやすい、宣伝効果の高いものになると思うがどうか。

【町長】日本人のみならず外国人も含めた多様な人々が求める情報を簡易的に取得できるという特徴がある。今後、取り組みを進めていきたい。

ユニバーサルデザインの7原則

- 1、どんな人でも公平に使えること。
- 2、使う上での柔軟性があること。
- 3、使い方が簡単で自明であること。
- 4、必要な情報が直ぐに分かること。
- 5、うっかりミスを許容できること。
- 6、身体への過度な負担を必要としないこと。
- 7、利用のための十分な大きさと空間が確保されていること。